

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果				公表日
						令和7年 2月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	ある程度のスペースがあり、相談室や個室スペースも完備されているため、十分確保できている。	活動に適したスペースの確保を行っていく。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		基準の人員配置より多く職員が配置されており、利用者への対応やフォローができる。	今後も継続していき、面談時に丁寧に説明を行っていきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		部屋の配置に対し安全に過ごせるよう、危険な場所は視覚的にわかるよう表示している。	安全な環境を保てるよう工夫していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	利用者が来所されるまでには、清潔な状態であるよう清掃に努めている。チェック表を掲示し常に意識が出来るようにしている。	今後も継続していきます。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	利用者の状況や対応が必要な場合は個別スペースを利用ができることができ、いつでも使える環境である。	今後も、利用しやすいよう環境整備を行っていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		支援内容の振り返りや、カリキュラムの設定を検討し、相談や意見交換を行い改善に努めている。	フィードバックを積み重ね改善に努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者からの評価表の意見を職員間で共有し、支援内容や環境の改善を行っています。	保護者からの意向に添えるよう、改善に努めて参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		法人全体で業務改善レポートを提出し、職員からの意見を検討し改善に努めています	今後も職員からの意見が出しやすくなるよう、改善していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		現在は行っていません。	要望があれば、検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	研修や講習会に積極的に参加し、できなかった職員にも情報伝達を行い、職員の意識向上に繋げています。	今後も研修を積み重ね、職員の意識向上を目指して行きます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		行ったカリキュラムの活動報告や、計画しているプログラムの目的を含め、書面で示しています。	今後も継続していきます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		子ども、保護者ともに面談を行い、個々の特性や希望に応じた支援計画を作成している。	子ども、保護者ともに信頼関係を築き、本人のニーズに合った支援計画の作成を行っていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	支援している職員の意見も取り入れ、計画を作成している。	児童発達支援管理責任者、職員の共通理解を図れるよう検討していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画に沿って支援ができるよう、支援目標の確認や、日々の振り返りを行っている。	都度計画に沿って支援できているか確認を行っていきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		フォーマルなアセスメントだけでなく、都度見返したり、確認を行い共通理解を行っている。	フォーマルなアセスメントとインフォーマルなアセスメント行動の分析をし、確認を行っていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		具体的な支援方法について、本人に寄り添った支援が出来るかどうか、加味しながら設定することができている。	今後も必要な支援項目や、具体的な支援内容の設定を行っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		カリキュラム担当者会議で検討された内容を伝達し、子どもの状況に合った活動内容になるよう変更や工夫をしている。	職員同士で話し合いを行い、状況にあったプログラムの立案を行っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		領域に沿ったプログラムを取り入れ、内容によって主となる職員を分担することで、固定化しないようにしている。	プログラム担当者が主となり、職員間で話し合い、様々な活動を計画しプログラムの検討を行っていきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		活動内容や子どもの状況に合わせて個々に対応できるようにしている。	子どもの状況に合わせて、個別、集団の活動を組み合わせながら計画、支援を行っていきます。

適切な支援の提供	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	前日やカリキュラム前に打ち合わせを行い、準備や流れについて確認を行い、役割や担当を決めスムーズに行えるようにしてます。	職員間の連携を図り、より良い支援が出来るよう工夫していきます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		職員間で振り返りを行い共有を行っている。また、改善すべき点など検討し話し合っている。	改善点等話し合いながら、支援の仕方や方法の改善を行っていきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援について気になった事や、振り返りについて話し合った内容にを記録している。	一人ひとりにあった支援が出来るよう、職員間で共有していきます。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に一回面談を行い保護者・子どもの課題について検討している。	定期的にモニタリングを行い、適切な計画の見直しが出来るようにしていきます。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		基本的活動を組み合わせて、様々な活動を取り入れられるようにしています。	4つの基本活動を組み合わせたプログラムを検討し支援を行っていきます。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		こどもが自分で選択し、個々に合った取り組みができるように準備しています。	自己選択の機会を増やし、個々にあった選択ができるよう工夫していきます。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	子どもの状況を把握できている者が会議に参加し、支援内容の確認や、方向性を相談しています。	今後も継続していきます。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校と連携を図り、情報共有を行っています。トラブル発生時は子どもの様子や状況など共有を図っています。	今後も情報共有を行っていきます。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	現在は行っていません。	必要であれば行っていきます。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		卒業後の進路先と連携を図り、保護者の了承のもと支援内容などの情報提供を行っている。	要望があれば、情報提供を行っていきます。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイトや助言や研修を受ける機会を設けているか。				
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			年一回、秋祭りを開催し、地域の子どもたちとの交流の機会を作っています。	活動の機会を増やしていくよう検討していきます。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。				
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡ノートでのやり取りで日々の情報を共有しています。また、何かあれば電話やメールでお伝えし共通理解を行っています。	今後も保護者との連携を密に行い、ご家庭に合わせた手段を提案し、情報共有を行っていきます。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	年2回、保護者会でペアレン特レーニングを実施し、家族の対応力の向上に繋げています。	保護者会へより多くの参加を促せるよう、要望を伺いながら関心を持っていただける内容の検討を行っていきます。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		面談時に、保護者への説明を行っています。	今後もより丁寧な説明を行ってきます。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者や子どもの希望やニーズをもとに尊重しつつ、目標の作成について確認を取り、説明を行っている。	今後もわかりやすい丁寧な説明を行っていきます。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		支援内容に沿って一つずつ説明を加え、質問があれば答えるようにしています。	今後もわかりやすい丁寧な説明を行っていきます。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて面談を行い個別にお話しする時間を作り対応しています。適切な助言が行えるよう、研修等を通じて支援者の資質向上に努めています。	今後も堅守を行い支援の資質向上を図り、適切な助言が行えるようにしていきます。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		現在は、年2回保護者会を実施し、保護者間の交流の場を設けています。	参加できない保護者にも資料配布し、連携を図っていきます。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情があった際には、職員間ですぐに周知し迅速に対応するようにしています。	原因を明らかにし、記録を残し問題点等繰り返し同じことが起こらないように職員間で情報共有し、未然に防げるよう丁寧な支援を徹底していきます。

保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月、行事予定など通信を発行しあげています。また、定期的にブログで活動の様子をブログで発信しています。	今後も活動の発信を行い、行事など周知をしていただけるよう、継続して行なっていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報が記載されているものは、鍵付きの場所に保管しており、施設外に持ち出さないことを徹底しています。またシユレーダーで処理をしおこなってから、破棄しています。	今後も個人情報の取り扱いに対する意識を高めて参ります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		一人ひとりにあった伝達方法を考え、書面やメールなど利用者に合わせた伝え方や説明を行なっています。	個々に合わせた情報伝達が出来るよう、工夫していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		秋祭りを開催し、地域のこどもや住民と交流できる機会を作っています。	地域住民との交流する機会が増やしていくよう、検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを作成しています。定期的な訓練や研修を行なっています。	今後も継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか。	5	1	業務継続計画を策定しています。定期的に非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっています。	今後も継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		入所時に服薬、てんかん発作についての状況や対応方法について保護者に確認し、面談時に変わらぬか本人の状況確認をしている。	今後も保護者と連携を行い、服薬やてんかん発作の情報を把握できるよう職員間で共有していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	施設の利用時に、アレルギーについてアンケート調査を行い、食物アレルギーのある方には、保護者の指示のもと対応を行なっています。	保護者と相談しながら適切に対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	マニュアルを作成し、緊急時の対応や訓練、定期的な整備点検を行なっている。	今後も定期的に点検や訓練を実施し、安全な支援が出来るよう心掛けを行なっています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	安全確保の為、緊急時の連絡先など連携が取れるよう周知指定して頂けるよう、説明会や面談時に説明を行なっています。	今後も保護者や家族と連携が図れるよう、取り組みについて説明を行なっています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		職員間で共有し、再発防止について考え、話し合いを行い、記録に残しています。	記録や情報をもとに再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		月に一度、全職員で虐待についての研修を行い、日々の支援内容の振り返りや、事例検討を行い対応が適切かを考えています。	今後も研修を行い、虐待防止に努めています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束についての検討のプロセスをもとに、こども、保護者にも事前に説明を行なっています。	身体拘束について検討していくことを怠らず、やむを得ず拘束を行う場合は、保護者と相談し支援として取り組んでいます。

事業所における自己評価総括表

○事業所名	波の家魚住放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日 ~		2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日 ~		2024年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの様子や状況を保護者へ密に伝達できており、保護者や家族との連携を取ることで、情報共有がスムーズに出来ている。	子どもの様子や変化に気を配り、気になることがあれば保護者へ迅速に連絡をすることや、職員同士でも共有している。	職員の目がいきわたり、一人ひとりの状況を把握した上で支援を行っていく。
2	職員配置等十分に満たされているため、個々の対応が円滑に行えている。	何かあれば個別に聞き取りを行ったり、子どもの状況に合わせてすぐに職員が対応している。	職員同士で情報共有を行い、誰もが対応できるようにしていく。
3	施設の環境が整っており、子どもたちが安心して過ごせる環境である。	安全面に配慮した環境整備を行っており、清潔面も日々心掛けている。また、個別の部屋も整理整頓を行い、急遽個別の対応となっても、すぐに対応出来るようにしている。	今後も、職員全員で意識を高め合い、環境整備取り組んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	来客が多く、不審者への防犯対策についての問題点が考えられる。	不審者対応の訓練は行っているが、施設の設備などから対応の仕方や方法が適切であるか疑問点が多い。	様々な想定で訓練を行っていき、より安全に対応できるよう検討していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		保護者等からの事業所評価の集計結果						
		公表日 令和7年 2月 1日						
		利用児童数 17 回収数 15						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4		1		様々な活動が安全に行いやすく、個別の対応ができる部屋があり十分なスペースが確保されています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	3			手厚く対応している	配置基準に基づいた職員配置や実際の職員配置を提示し、より丁寧に説明を行っていきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	5		3		物の置き場や、階段など注意が必要な場所について視覚的にわかりやすく表示しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	2	1	1		毎日、清掃を行い清潔を保てるよう取り組んでいます。また日々の活動が行いやすいよう整理整頓を心がけ、どこに何があるかわかりやすくしています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	2	1		個人に合わせて丁寧なアドバイスがあった。困りごとがあればすぐに対応してくれる。	個々の様子や状況の変化に素早く気づき、保護者からのご意見をより丁寧にお聞きし、対応していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	3		3		支援内容に合わせてプログラムの変更や、取り組み方を検討し、面談時に行うプログラムの目的等をお伝えしていきます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1				子ども、保護者との信頼関係を気づき、ニーズや課題を把握し作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	12	1		2		支援内容の項目を見直し、新しい支援計画の内容に必要な項目や内容を設定していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	2		1		個々の目標に合わせた適切な支援内容を検討し、保護者の方へお伝えしていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	2		2		プログラム担当者を中心に入見交換を行い、同じようなサービスになっていないか検討し、活動の幅を広げていくよう工夫していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	7		5		同世代の方との交流は出来ていますが、地域の子どもとは交流の機会は設けていません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1				面談時等により丁寧に詳しく説明を行い、質問にもお答えしていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1				項目ごとに一つずつ確認しながらより丁寧な説明を行っていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	4		3	実施があれば参加したい。	今後も定期的に実施し、面談時に保護者にお伝えし、知りていただけるよう情報を提供していきます。
保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1	1		伝達手段があり安心できる。	今後も保護者と連携を取り、子どもの状況が保護者、支援者ともに十分に理解できるようにしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2				今後も、定期的な面談を行い、より適切な助言が行えるよう努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	2		1		子ども、保護者との信頼関係を気づき、保護者の方のお話をより丁寧に聞き取り、ニーズや課題を把握した上で支援を行っていきます。

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4		4		保護者同士の交流の機会を設け、事前に開催される日程等をお伝えし、より多くの保護者の方に参加していただけるよう活動の内容を検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2				常に対応できる体制を取り、こども、家族からの相談や申し入れがあった際は、迅速に対応をしていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2				こども、保護者との意思を柔軟に聞き取り情報伝達を行っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	3		1		今後も定期的に通信やSNSでの行事予定や活動内容の情報をお伝えしていきます。また、お子様からもお伝えしていただけるようお声かけをしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1				シェレッダーでの処理、鍵付きの棚への書類保管など個人情報の取り扱いに十分に注意し、職員全体で意識向上に努めています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		1		マニュアルを添って、様々な訓練を行っていることを保護者の方へお伝えし、発生した際は俊敏に対応できるよう努めています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1				今後も定期的な訓練や、個々の緊急時の対応方法等も保護者からのご意見も踏まえより細かな部分まで対応できるよう訓練を行っていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1				置き去り防止装置の設置など、安全マニュアルに沿って訓練を行い、安全面に配慮した支援を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		1	少しの変化でも連絡があり安心できる。	事故等発生した場合は、緊急時対応マニュアルに沿って、速やかに状況をお伝えし対応していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	3			安心感はあるが、不安もある。	支援者との信頼関係を築き、子どもたちが安心して通所ができる環境を作っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	5		1		日々のカリキュラムや、レクリエーション活動において支援者同士意見を出し合い、様々な工夫や提案を行い支援を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	5			丁寧な聞き取り対応に感謝しております。	子どもや保護者の方からのご意見を丁寧に聞き取り、一人ひとりに寄り添いながら支援を行って行きます。